



科学部

いつもはこういった文章を書くとき、長いこと考えてしまうタイプですが、今年はネタに困らないです。まあきつとみなさんと被ると思います。科学部は外へ出かけたりイベントに参加にすることが多い部活なんです。ほとんどパーになって、なんだか部員の士気も下がったような、いや士気はもともと低かったか？それは置いといて、こんな混乱の中で新入部員が四人入ったことはとてもありがたいことです。感謝。研究の方ですが引き継ぎ「カグヤコウモリの行動調査」、「石狩川のマイクロプラスチック調査」に加え、期待の一年生の新ネタ「ペットボトルのキャップからガソリンは作れるか？」と河田先生直伝の「音速と超音速の測定」そして一応科学部として大会に提出した理数科の「ホルモール法によるアミノ酸量の定量実験」など面白いばかり。気になった人は是非お近くの部員まで。しばらくの課題は新入部員の獲得です。今の科学部の構成は二年生が六人、一年生三人であり、このまま減っていくと科学部は消滅してしまいます。それはなくとも、部員が多ければアイデアも増えるので多に越したことはありません。言い訳をさせてもらおうと頼みの綱の対面式が無かったおかげでただでさえ人気がない科学部がさらに埋もれることになったと思います。全部コロナのせいです。以上科学部でした。